

第122回教育研究評議会議事概要

日 時 平成26年7月18日（金）13時30分～15時00分
場 所 事務局大会議室
出席者 山崎（議長）、柴田、山本、福森、樫見、岩田（礼）、石田、平田、川幡、山岸、加藤、加納、末松、千木、岩田（佳）、飯山、高山（純）、井関、多久和、松下（良）、國嶋、稲垣、松下（良平）、鏡味、青木、金子、佐藤、大島、並木、古畑、早川、堀井、大竹
欠席者 神谷
陪席者 向、有松、鈴木、中村、石原、上村、中島、坂本、大谷、高山（知）、岩見、志村

1 前回議事確認

第121回教育研究評議会 6月20日開催

2 協 議

(1) 金沢大学<グローバル>スタンダード

議長から、金沢大学<グローバル>スタンダード（GS）の策定経緯等について説明があった後、教育担当理事から、その内容について〔資料1〕に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

また、議長から、本学における共通教育改革案の策定に向けた検討を次のとおり実施したい旨提案があり、審議の結果、承認された。

- 教育企画会議の下に次の者を構成員とした「共通教育改革検討委員会」を新たに設置すること。
 - ① 教育戦略会議の構成員
 - ② 各学類長又は各学類長が指名する教員 各1名
 - ③ 外国語教育研究センター長又は同センター長が指名する教員
 - ④ 留学生センター長又は同センター長が指名する教員
 - ⑤ その他教育担当理事が必要と認めた者
- 同委員会の主な検討事項については、次のとおりであること。
 - ① GS科目及びGS言語科目の決定、統一教科書の作成、人間力強化プログラムの検討
 - ② 国際基幹教育院（仮称）の設置案の策定
 - ③ その他共通教育改革に必要な事項
- 同改革案は、平成26年9月末を目途に中間報告を取りまとめ、学内への意見照会を経て、その後2か月程度で最終案を策定すること。
- 同委員会の設置及び規程の制定については、教育企画会議において審議し決定すること。

(2) 入学検定料免除の対象となる自然災害の決定

議長から、入学検定料免除の対象となる自然災害の決定に関する手続きについて説明があった後、教育担当理事から、具体的な対象地域等について〔資料2〕に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 金沢大学学生留学生宿舍寄宿料の日額設定

教育担当理事から、〔資料3〕に基づき金沢大学学生留学生宿舍寄宿料の日額設定について説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 金沢大学男女共同参画推進宣言（案）

議長から、金沢大学男女共同参画推進宣言（案）の策定経緯等について説明があった後、総務・人事・施設担当理事から、同案の内容について〔資料4〕に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

3 報 告

(1) 教員人事

議長から、〔資料5〕に基づき、10件の教員人事について報告があった。

(2) オープンキャンパス

学生募集・入試担当学長補佐から、〔資料6〕に基づき、オープンキャンパスの実施概要等について説明があった。

(3) 金沢大学研究力強化戦略

総括・改革・研究・財務担当理事から、〔資料7-1 及び 7-2〕に基づき、金沢大学研究力強化戦略について説明があった。

(4) 平成26年度研究関係外部資金獲得状況

総括・改革・研究・財務担当理事から、〔資料9〕に基づき、平成26年度第1四半期における研究関係外部資金獲得状況について報告があった。

(5) 平成26年度公募事業一覧（機関申請分）

総括・改革・研究・財務担当理事から、〔資料10〕に基づき、平成26年度公募事業一覧（機関申請分）について報告があった。

(6) 特許等実施許諾契約

総括・改革・研究・財務担当理事から、〔資料11〕に基づき、平成26年6月末現在の特許等実施許諾契約の状況について報告があった。

(7) 部局間国際交流協定の締結

国際・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料 12-1 及び 12-2〕に基づき、1 件の部局間国際交流協定の締結について報告があった。

(8) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大学との連携に関する協定の締結

総務・人事・施設担当理事から、〔資料 13〕に基づき、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における大学との連携に関する協定の締結について報告があった。

(9) 七尾市の産業・地域活性化に係る協力協定の締結

企画評価・情報・社会貢献担当理事から、〔資料 14〕に基づき、七尾市の産業・地域活性化に係る協力協定の締結について報告があった。

(10) 東京事務所の仮移転先と移転時期

総務・人事・施設担当理事から、〔資料 15〕に基づき、東京事務所の仮移転先と移転時期について説明があった。

(11) 学会賞等の受賞

議長から、学会賞等の受賞について、今回から受賞内容に応じて 5 つの区分に分類した旨説明があった後、〔資料 16〕に基づき、平成 26 年 3 月以降における受賞状況について報告があった。

また、次回以降は、各教員において該当する受賞区分を選択した上で報告していただきたい旨発言があった。

4 その他

(1) 城内実衆議院議員による特別講義

国際・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料 17〕に基づき、城内実衆議院議員による特別講義について説明及び参加依頼があった。

(2) 大学の MOOC 活用に関するワークショップ

企画評価・情報・社会貢献担当理事から、〔資料 18〕に基づき、大学の MOOC 活用に関するワークショップについて説明があった。

(3) 教職員向け報道機関対応マニュアル

総務・人事・施設担当理事から、〔資料 19〕に基づき、教職員向け報道機関対応マニュアルについて説明があった。

また、議長から、YAMAZAKI プラン 2014 に示されている入試制度改革案の策定に向けた

検討を次のとおり実施したい旨提案があり、審議の結果、承認された。

- 教育企画会議の下に置かれている「入試制度検討委員会」で検討すること。
- 同委員会において特に検討していただきたい事項は、次のとおりであること。
 - ① 国際バカロレア入試
 - ② 外部試験の活用（特に英語）
 - ③ 地域枠
 - ④ 学域入試の一部導入の可能性
- 構成員としては、同委員会規程に基づき次のとおりとするが、①の学長補佐は学生募集・入試担当とし同委員会の委員長となること。

また、⑤の委員として各学域の教務委員会から各1人の計3人を加えた15人構成とし、必要に応じて教育担当理事が出席することとする。

 - ① 教育担当理事が指名する学長補佐 1人
 - ② 各学域を担当する教員から選出された者 各3人
 - ③ 学生部長
 - ④ 入試課長
 - ⑤ その他委員長が必要と認めた者 若干人
- 検討の期限については特に定めないが、慎重に検討すること。

次回開催予定

- 第123回教育研究評議会 日時：9月19日（金）13時30分から